

戦評用紙

大会名	令和8年度 第77回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2026年6月7日 14:20 ~	区分	高体連
----	-------------------	----	-----

チームA				チームB
山形中央				羽黒
77	13	1Q	14	80
	16	2Q	23	
	18	3Q	24	
	22	4Q	8	
	8	延長	11	

【戦評】

決勝戦は、1月に行われた山形県新人大会決勝と同じ、山形中央(以下、山中)と羽黒の一戦となった。

スターティングメンバーは、山中#91、#21、#0、#5、#1、羽黒#58、#3、#5、#40、#41

1Q

山中、羽黒ともにマンツーマンディフェンスでスタート。羽黒#58のスリーポイントでスコアが動く。山中は#91のミドルシュートで得点。その後は両者ともに激しいディフェンスを展開し、スコアが停滞する。1Q残り4分、羽黒#41のスリーポイントでスコアが動くも、すぐさま山中#21もスリーポイントを決め返す。その後も一進一退の攻防を繰り広げ、スコアは13-14、羽黒リードで終了。

2Q

開始早々から羽黒#40のミドルシュートと#41のスリーポイントシュートが決まり、流れが羽黒に傾きかけるも、山中も#51のドライブなどで食らいつく。羽黒#58、山中#21のスリーポイントが決まりスコアは28-21。その後、山中#5が連続でスリーポイントを決めて点差を縮める。羽黒はオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスをものにし、着実に点数を積み重ねる。37-29、羽黒8点リードで前半を終える。

3Q

開始20秒、山中は#91のバスケットカウントからの3点プレーで流れを掴む。羽黒はディフェンスを2-3のゾーンディフェンスに変更し、激しいディフェンスを展開する。山中は#91のオウンゴールを皮切りに、羽黒#41と#58のスリーポイントで連続失点してしまい、たまたまタイムアウト。その後は一進一退の攻防が続くも、残り時間3分、羽黒は#45のスティールからのレイアップで51-41の10点差とする。その後も羽黒は#3や#45のシュートで得点を重ねる。一方の山中はディフェンスを2-3のゾーンディフェンスに変更し、抵抗を試みるも羽黒のゾーン攻略に苦しみ、スコアは61-47で羽黒が14点リードと点差を広げて終了。

4Q

羽黒#58のフリースローでスコアが動く。山中は#91のスリーポイントで反撃に出るも、すぐさま羽黒#3がリバウンドからのシュートを決め返す。その後山中は激しいディフェンスを展開し、ディフェンスリバウンドを取り切る。オフェンスでは、#21のスリーポイントシュートと#5の速攻のレイアップで点差を7点に縮める。ここで羽黒たまたまタイムアウト。タイムアウト明け、山中がチーム一丸となったディフェンスを披露し、試合時間残り25秒、山中#91のスリーポイントで69-69の同点に追いつき、会場の熱気は最高潮。羽黒はタイムアウト明け、#41のシュートで決着を狙うもシュートは外れ、試合は延長戦に突入。

OT

羽黒#40のミドルシュートが決まり試合が動くも、山中#21がすかさずドライブでやり返す。その後も山中が決めれば羽黒もやり返す、一進一退の攻防が続くも、山中#21が無念の負傷退場。その後のオフェンスで羽黒#5がシュートを決めきり試合時間残り15秒、80-77とリードを広げ、ここで山中タイムアウト。タイムアウト明け、山中はスリーポイントで同点を狙うも、最後のシュートはリングに嫌われ万事休す。オーバータイムまでもつれる激戦を制した羽黒が5年連続の優勝を勝ち取った。